

## METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

## 特集 2023年度採用 教員採用試験に挑む！

7月10日(日)より千葉県、東京都、埼玉県等を皮切りに、来年度に向けた教員採用試験(一次)が実施され、本学からも多数の学生が受験しました。

教職課程センターでは、難関突破に向けて取り組んでいるすべての受験生の合格を心から祈念するとともに、今後行われる二次試験に向けて全力を挙げて支援していきます。

○「教職教養は、ほぼ『いいセン』いったと思います」

○「面接は、事前の練習の成果もあり、うまくいきました」

○「(集団討論で)『司会を立てずに行う』という指示を守らない受験生がいて困りました。討論全体の流れの軌道修正を図るのに苦労しました」

○「専門教科は問題の難しさもそうだが、量がハンパなかった。もっと入念に試験対策をしておくべきだったと反省しました」

試験の様子を報告しにきてくれた4年生の皆さんの感想です。どの顔も、無事一次試験を終えることができたという安堵の表情に満ちていました。今年、4年生(現役)で千葉県を受験した人は10人、東京都が6人、他の自治体(群馬県・川崎市・名古屋市)3人で、計19人が難関に挑戦しました。また、既に現場で講師として勤務しており、二次試験から受験する卒業生も含めると、実に30人の明海大生が来年度教壇に立つことを目指して頑張っています。METTSでは引き続き、二次試験に向け全力でサポートをしてまいります。



### 壮行会で受験生の皆さん向け エールを送りました！

7月6日(水)、教員採用試験に向けて壮行会を行いました。千葉県、東京都など1都2県2市を受験する学生に向け、高野副学長(教職課程センター長)から「これまで培った力があれば大丈夫！」と力強い励ましの言葉とともにお守りとおみくじ煎餅、一人ひとりに向けたメッセージカードなどが受験生に手渡されました。

今年度の受験生代表の日本語学科4年の大友晋之介さんと英米語学科4年の佐藤向日葵さんからは、「励ましを有り難うございます。」「精一杯頑張ります。」と決意表明がありました。3年生や2年生30人も応援に駆け付け、先輩たちの健闘を祈るとともに、「来年度はいよいよ自分たちの番！」との自覚を深めていました。



【写真左上】高野敬三副学長(教職課程センター長)から激励の言葉・メッセージとともにお守りとおみくじ煎餅が全員に手渡されました。写真は英米語学科佐藤向日葵さん。Fortune cookieの中身はいかがでしたか。

【写真右上】日本語学科大友晋之介さんによる代表挨拶。少し緊張気味でしたが、立派な決意表明でした。

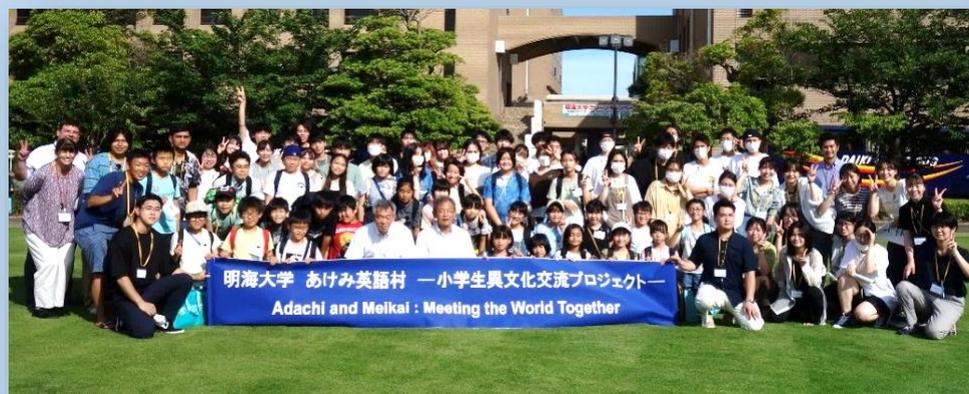
【写真下】2・3年生が応援に駆け付けてくれました。

## ようこそ 明海大学あけみ英語村 2022 へ！

6月29日(水)、足立区との教育連携事業の一環として「明海大学 あけみ英語村 2022－小学生異文化交流プロジェクト」を開催しました。昨年度は、コロナ禍の影響でオンラインによる開催でしたが、今年は足立区立舎人(とねり)小学校5年生 80人と本学の外国人留学生・日本人学生約60人が参加し、英語を使った異文化交流が行われました。

はじめは緊張した様子の小学生たちでしたが、キャンパスツアーで大学の施設をめぐり、留学生から英語による説明を聞く中で少しずつ打ち解け、(熱中症に留意して)体育館で行われたゲームでは、ネイティブスピーカーの教員も交えて大いに盛り上がりました。終了後、小学生たちからは、「今日はとっても楽しかったです」「I had fun!」「もっと活動したかったです」など、沢山の感想が寄せられました。一方、参加した留学生たちからも「小学生の楽しそうな表情を見ることができたことが嬉しかったです!」「とても貴重な経験ができました。小学生と英語でコミュニケーションをとれる機会はなかなかないので、同じような機会があればまた参加したいと思います」「小学生の英語力にもびっくりしましたし、簡単な英語でしたが、コミュニケーションをとることがとても楽しかったです」といった声が寄せられました。

今年度2回目は、10月4日(火)に栗原小学校の児童の皆さんが来学する予定です。明海大学は、今後も足立区と連携した様々な取組を通じて、地域学校教育やグローバル人材の育成に貢献していきます。



## 留学生との交流会～東京都立田柄高等学校～

7月13日(水)、本学と高大連携協定を結んでいる東京都立田柄高等学校において「留学生との交流会」が行われました。これは、本学外国人留学生と高校生との交流を通じて、お互いの文化に触れ理解を深めることを目的としたものです。本学からは、引率の坂本純一教授とともに中国、台湾、韓国、ベトナム出身の外国人留学生6人が交流会に参加。1年生5クラスに分かれ、それぞれ自国文化について写真やスライド資料を投影しながら紹介を行いました。同校の山崎聡子校長からもご挨拶をいただき、留学生と生徒たちが懇談して交流を深めました。

日本語学科4年で台湾出身のウー・イウェイさんは、「日本語で交流するのは初めてで、とてもいい経験になりました」、英米語学科4年で中国出身のリウ・ハクブンさんは、「お互いの文化の良いところを見習いながら、視野を広げることが大切であると感じました」と語っていました。



| アゴラ活用状況(人)  |        |
|-------------|--------|
| 6月          | 1,240  |
| 2018年度から延べ数 | 52,969 |